

第2回市民協働による住民自治検討委員会

令和7年5月15日

1. 第1回検討委員会の振り返り（意見交換、課題の整理）
2. 大野市の状況
3. 課題に対する全国の対応事例
4. 対応策の検討

1. 第1回内容の振り返り（意見交換、課題の整理）

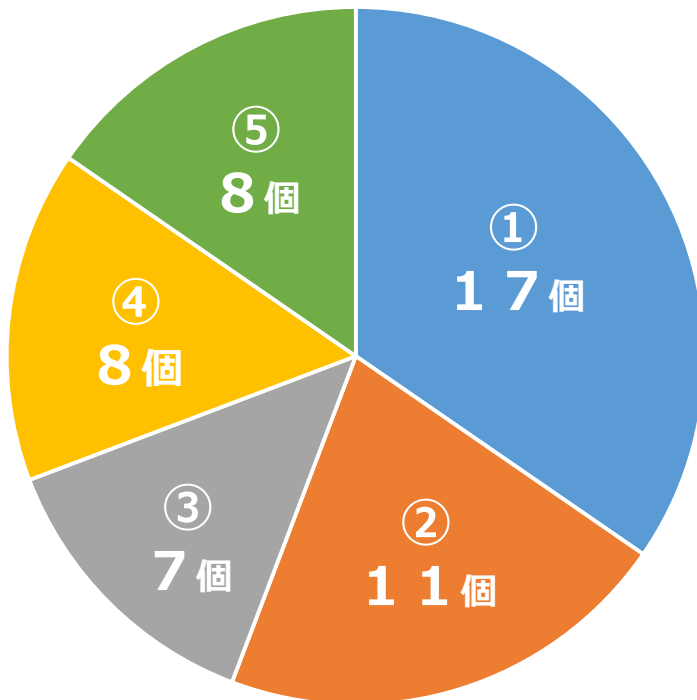
調整前：70個の意見を10分野に分類

※別紙資料1

意見を再分類

調整後：5分野 51個の意見に分類（重複する意見を集約）

分野ごとの意見の数（調整後）



①人材不足・担い手の問題

②地域活動・行事の問題

③住民意識・価値観の変化

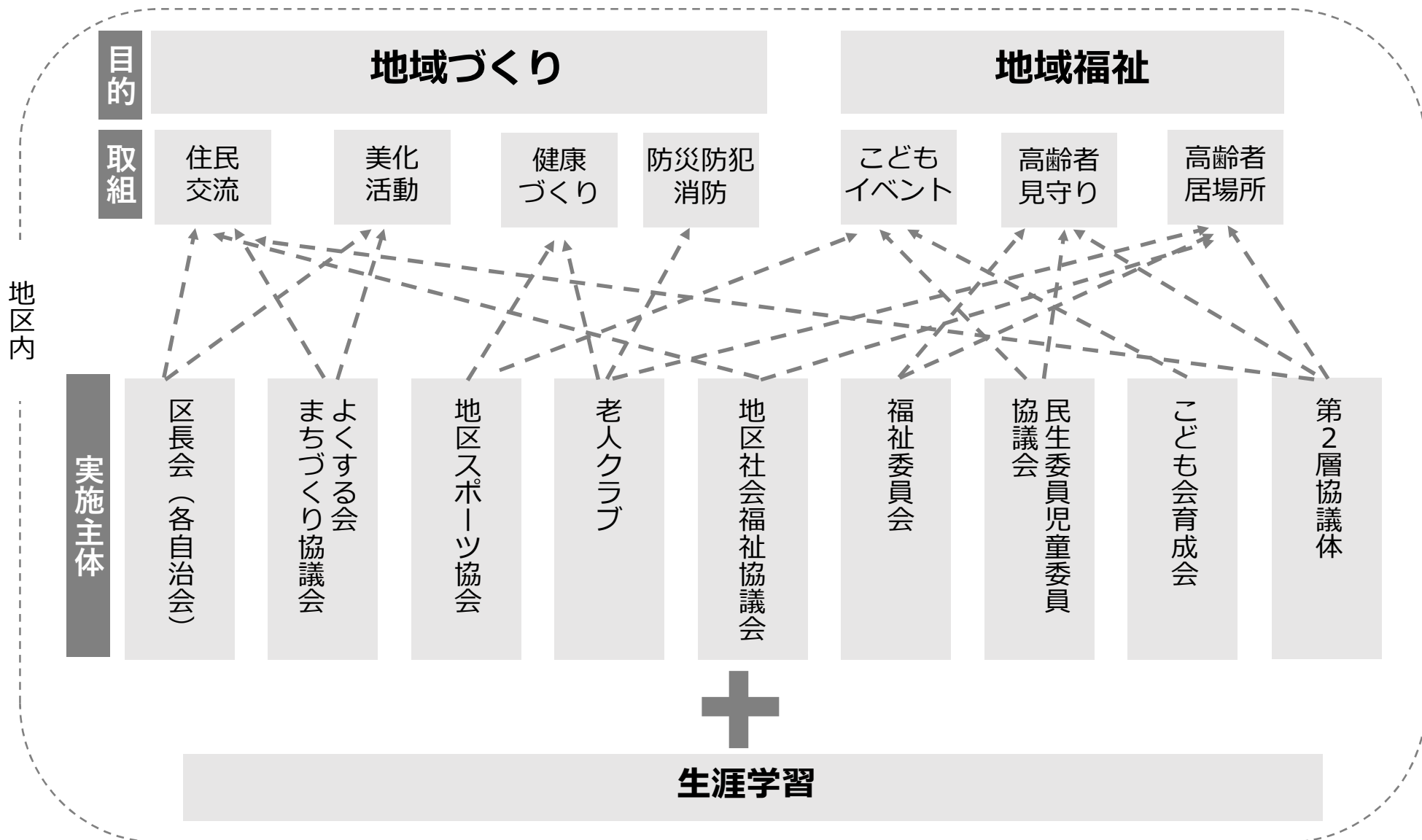
④物的・外的環境の課題

⑤資金・運営の問題

2. 大野市の状況

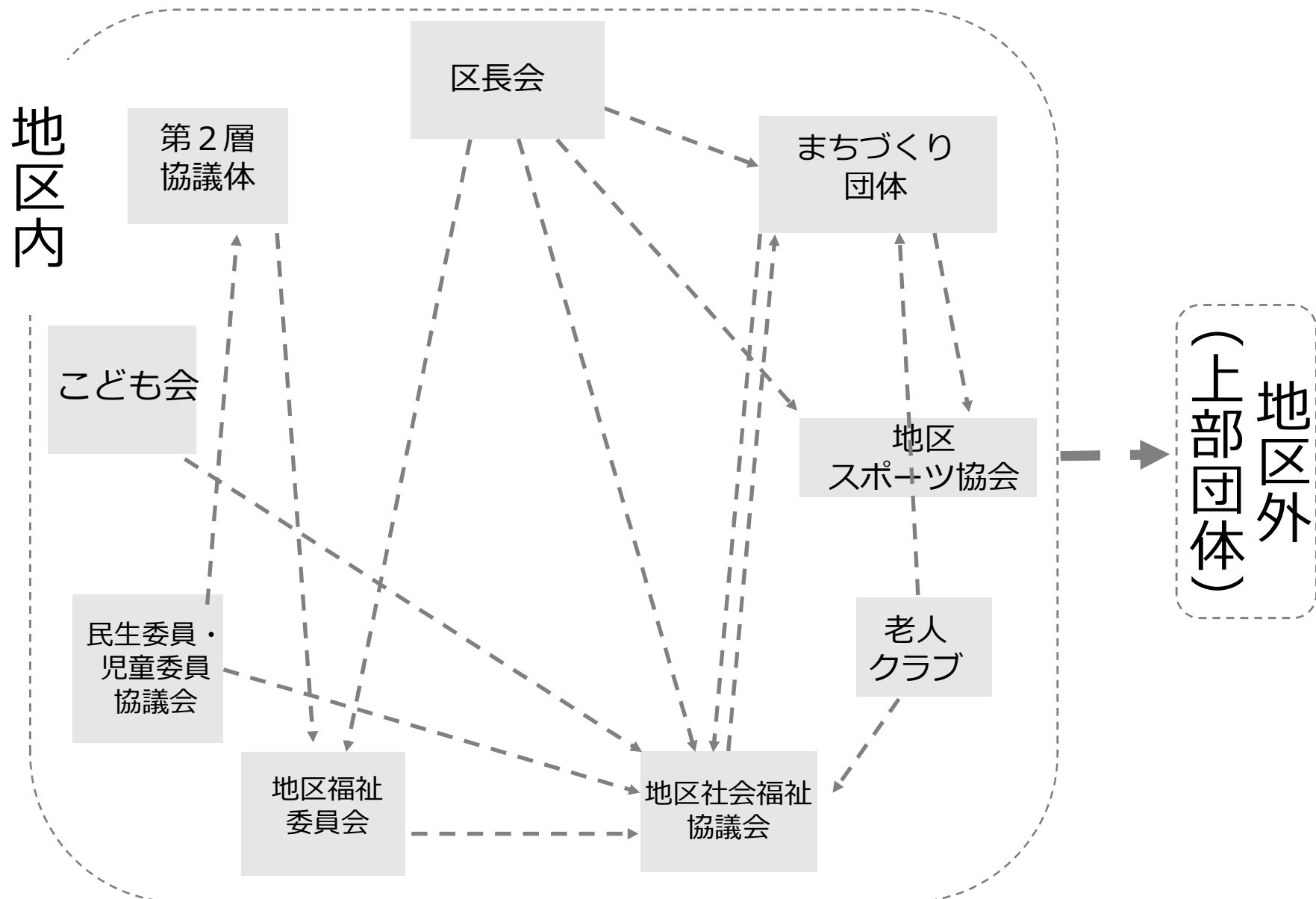
大野市の現状（活動の視点から）

同じ目的の活動を各団体が別々に実施している場合がある。



2. 大野市の状況

大野市の現状（人の視点から） 各団体間で委員を掛け持ちする場合がある。



3. 課題に対する全国の対応事例

意見交換での主な課題に対する全国の対応例

課題		対応策
人材不足 担い手 の問題	若者や新しい人材の確保・発掘	全住民アンケートによる人材・担い手の発掘
	役員不足、役職の負担増加	行事・会議の棚卸し（合同実施などによる負担軽減）
地域活動 行事の問題	行事やイベントの参加者不足 参加者の固定化	全住民アンケートによる住民ニーズの把握と活動・行事の見直し
	こどもの減少で育成会や行事が困難	複数の自治会で共同開催
住民意識 価値観 の変化	若い世代の関心の減少	全住民アンケートによる住民ニーズの把握と活動・行事の見直し
	生活スタイル・価値観の多様化による担い手不足	
物的・外的 環境の問題	空き家問題	地域で空き家再生の取り組み
	高齢者宅の除排雪	地域の共助による対応（大野市＝優良事例）
資金・運営 の問題	活動資金の不足	経済（営利）活動による活動資金の調達
		クラウドファンディングによる活動資金の調達

※大野地区は、令和5年度に中学生以上の全住民を対象にしたアンケートを実施。

3. 課題に対する全国の対応事例

具体的取組

1 活動・ニーズの見える化（行事・会議の棚卸し）

地域にどれだけの活動・行事・会議があるのかを把握
中学生以上の全住民アンケートで地域のニーズを把握

2 将来の人口と世帯構成を把握（見通しを共有）

将来の人口推計や世帯構成の変化を共有し、備える

3 行事、会議、事務の共有を進める（負担の軽減、活動時間の確保）

例）行事の合同開催：体育大会に防災訓練の要素を加える
敬老会と文化祭を合同で行う

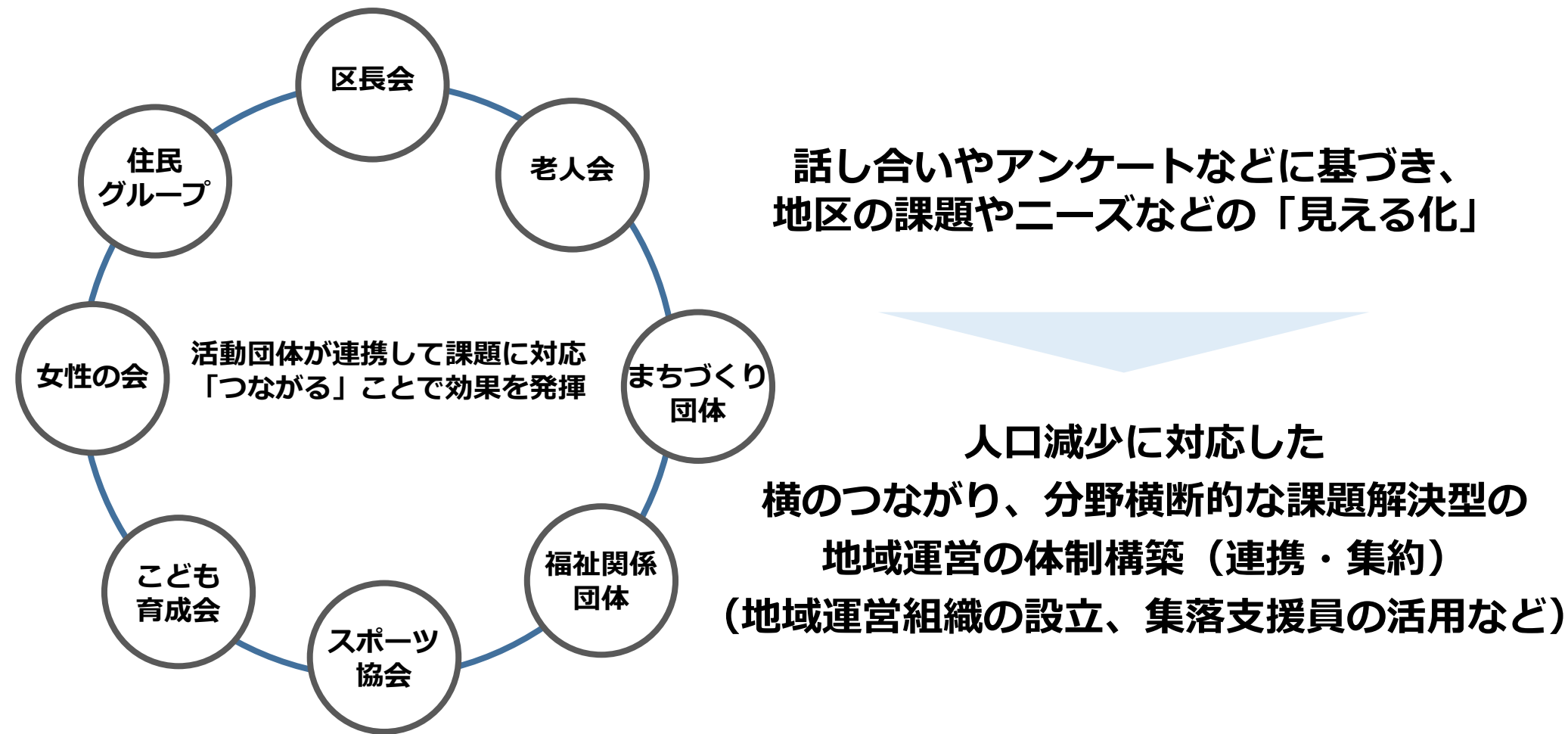
4 地域運営組織の設立（別紙資料2）

地域で暮らす人々が中心となって、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が
定めた地域経営の指針に基づき地域の課題解決に向けた取組を持続的に実践

5 集落支援員の活用（別紙資料3）

過疎地域等の集落の維持・活性化のため、市町村職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握を実施（集落点検、集落に対して話し合いの促進など）

3. 課題に対する全国の対応事例



3. 課題に対する全国の対応事例

具体的事例

島根県雲南市鍋山地区（別紙資料4）

- ・鍋山ささえあい事業

- 「まめなか君の水道検針」

（高齢者の見守り＋水道検針・経済活動）

市水道局との委託契約で水道検針を受託

毎月、全世帯を訪問、声掛け

- 「走れ!!よりそい号」（自家用旅客運送業）

65歳以上で車の運転ができない方を対象に、地区内を1乗車300円で運行

（運転手は運営組織職員6人、軽自動車2台で実施）

4. 対応策の検討

課題にどう対応していくのか

後期高齢者の割合増加
働き盛り世代の減少

市民ニーズの多様化

担い手不足
負担感増

〔 人材不足・
担い手の問題 〕

〔 地域活動・
行事の問題 〕

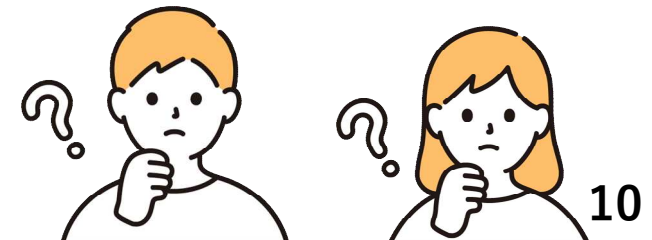
〔 住民意識・
価値観の変化 〕

〔 物的・外的
環境の課題 〕

〔 資金・運営
の問題 〕

これからの住民自治、団体活動をどうしていくか

人口減少時代に対応した市民協働による住民自治の対応策



4. 対応策の検討

【参考】地区で話し合う流れ

地区の団体が連携し、課題やニーズについて話し合う

STEP 01

地区の人口と世帯構成の推移を確認する

地区の人口や世帯構成の推移を知り、地区の現状、将来を確認する

- ・ 支援が必要になる高齢者世帯の推移

STEP 02

地区の行事、会議、組織の棚卸しをする

地区にどれだけの活動、行事、会議があり、どれくらいの「役」があるのかを確認する

- ・ 活動、行事、会議を重ねて開催することで時間や負担の軽減を検討する

STEP 03

住民のニーズを知る

中学生以上の全住民にアンケート調査をすることで、住民のニーズを知る

- ・ 住民の不安や困りごとから、必要となる活動につながる
- ・ 質問の設定によって、担い手の発掘や参加者の増加につながる

STEP 04

地区の現状やニーズに対応した組織の見直し